

東日本大震災から7回目の夏を迎える仙台市東部沿岸地域。防潮堤や道路、津波避難施設が新たに建設され、農地の復活と自然本来の蘇生も相まって、人工物と自然が共存するエリアとなっています。住んでいる人、離れている人に関わらず、地域住民の皆さんの活動も目に見えるようになってきました。暮らしが整ってきた証です。小さいながらも個性的な活動が、この地域にはこぎめ蠢んでいるように感じます。

展示会場には、若林区荒浜出身のミュージシャン・佐藤那美さんが仙台市東部沿岸地域の音を集めて制作した音楽が流れます。変化の激しいこの地域には今しか見られない光景があるように、今しか聞けない音もまた存在することに気づくかもしれません。

会期最終週〔10/20(金)・21(土)・22(日)〕には、在仙のイラストレーター・佐藤ジュンコさんによって館内展示『仙台沿岸イラストマップ』に新たな場面を描き加えていただきます。

The left drawing depicts a family (mother, father, and child) at a beach. A shop with a red awning and a boat are also shown. Text includes '母と水公園' (Mother and Water Park) and '水公園' (Water Park).

The middle drawing shows two children on a bridge. A sign reads '日本一低い山' (Japan's lowest mountain). Text includes '七北田川' (Shichihitadogawa) and '蒲生千瀬' (Yasuhiko Chikase).

The right drawing is a colorful map of Japan with various place names and landmarks. Text includes '日本一低い山' (Japan's lowest mountain) and '日本一高い山' (Japan's highest mountain).



1990年生まれ。仙台市荒浜で育つ。震災を機に音楽制作をはじめる。2011年、七尾旅人主催の東日本大震災義援金募集プロジェクトNORTH HEARTSにてミニアルバム「in spring at the dirty wasteland」を発表。2013年、アルバム「ARAHAMA callings」を配信リリース。2016年3月11日には一昨年と昨年に引き続き、自身の母校である荒浜小学校でHUNGER(GAGLE)、倉田茂一、恒岡章(ヒ-STANDARD)、KGMらと「HOPE For project」にてライブセッション。ピアノを中心に楽器を全て1人で演奏するスタイルで、東北での音楽制作を続けている。



1978年、福島県伊達郡霊山町（現・伊達市）生まれ。仙台市在住。2014年まで仙台の書店に勤務。2015年からイラストレーターになる。著書に『佐藤ジュンコのひとり飯な日々』（ミシマ社）、『月刊佐藤純子』（筑摩書房）、『仕事場のちょっと奥までよろしいですか？』（ポプラ社）がある。河北新報夕刊に「街で会いましょう」連載中。

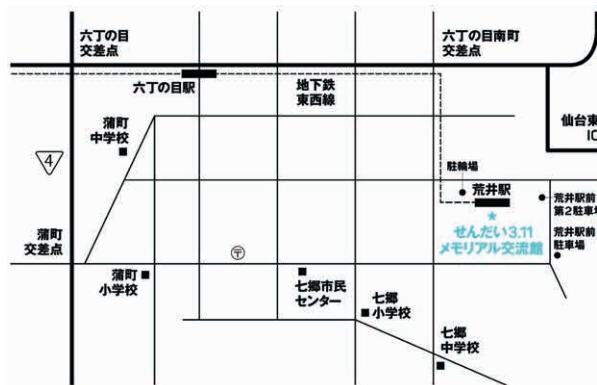
若林区荒浜地区にて、深沼海岸を背に西を望む。(2017年5月撮影)



(: 高砂地区における江戸時代の村名、 : 七郷地区における江戸時代の村名、 : 六郷地区における江戸時代の村名



フェイスブック <https://www.facebook.com/sendai311memorial/>



＜仙台空港から＞
仙台空港アクセス線仙台行きで25分
仙台駅で地下鉄東西線に乗り換え
＜仙台駅 から＞
地下鉄東西線荒井行きで13分

- 車でお越しの方は、荒井駅前・荒井駅前第2駐車場
(有料)をご利用ください。
- バイク・自転車でお越しの方は、荒井駅駐輪
(有料)をご利用ください。

展 示

ここから 新しい音を紡ぐ

荒浜出身の佐藤那美さんが、会期中に仙台市東部沿岸地域のさまざまな場所に出掛けて「いま聞こえる音」を拾い集めます。その音たちをつなぎ合わせてつくった音楽が展示室に流れます。

期間中展示

制作：佐藤那美（ミュージシャン）

○会場：ゼンダイ3.11メモリアル交流館 2階展示室

ツアー

「土地で作られる建築」を めぐるまち歩きツアー

―被災地から生まれた建築に学ぶ―

仙台市東部沿岸地域の災害危険区域には、津波の瓦礫の中から拾った材料や、近くのホームセンターで手に入る材料を組合わせて建物を作る人たちがいます。被災地という「土地で作られる建築」を探しに、まずは荒浜を歩きます。

7月17日（月・祝）10時30分～13時 ※荒天時中止

要申込

○集合場所：震災遺構仙台市立荒浜小学校 駐車場（仙台市若林区荒浜字新堀端32-1）
アクセス／荒井駅より仙台市営バス旧荒浜小学校行き終点下車（9:59→10:13）
○案内人：小山田陽（建築家）、岩澤拓海（建築家）
○参加費：500円（1ドリンク付、小学生以下無料）○定員：15名（先着順、7/6より受付）

展 示／公開制作

思い出を さらに重ねて

会期中に集めた魅力や思い出をもとに、館内展示『仙台沿岸イラストマップ』の公開制作を行います。

10月20日（金）・21日（土）・22日（日）13～16時

制作：佐藤ジュンコ（イラストレーター）

○会場：ゼンダイ3.11メモリアル交流館 2階廊下

ワークショップ

手芸で 七夕飾りをつくろう

若林区東六郷地区にお住まいだった方々を中心に結成された手作りサークル「マートル」の皆さんに手芸による七夕飾りの作り方を教えていただきます。

7月27日（木）13時30分～15時

申込不要
直接会場へ

○会場：ゼンダイ3.11メモリアル交流館 1階交流スペース
○参加費：1個につき100円
○時間内出入り自由です。ご都合のよい時間にお越しください。 協力：マートル

イベント

屋上 ナイトガーデン

交流館の屋上庭園で夜空を眺めながら、仙台市東部沿岸地域の美味しい食材を楽しみます。

8月4日（金）18時～20時

申込不要
直接会場へ

○会場：ゼンダイ3.11メモリアル交流館 屋上庭園 ○入場無料、飲食代別途
○時間内出入り自由です。ご都合のよい時間にお越しください。
協力：荒浜めぐみキッチン、㈱荒浜アグリパートナーズ、ゼンダイ東部復興市民会議

ツアー

食べられる生き物を 探しに行くツアー

仙台東部エリアには食べられる生き物がいっぱい！環境の変化や東日本大震災の影響で見つけにくくなった生き物たちを探しに行きましょう！

＜水辺の生き物編＞8月20日（日）10時～12時（荒天時中止）

＜イナゴ編＞10月14日（土）10時～12時（荒天時中止）

※各回共通※

○集合場所：ゼンダイ3.11メモリアル交流館 2階スタジオ
○参加費：100円 ○定員：20名（先着順、8/6より受付）
協力：NPO法人冒険あそび場―ゼンダイ・みやぎネットワーク、六・七郷堀サポーターズ

要申込

イベント

朗読＜みちのく怪談＞の夕べ

「怪談」は、亡くなった人への鎮魂や慰霊、供養の思いを込めた文芸です。お盆を前にした夏の夜、被災地で語られているちょっと不思議な話や怪談話に耳を傾けてみませんか。

8月10日（木）18時～20時

要申込

○会場：ゼンダイ3.11メモリアル交流館 屋上庭園
○司会進行：黒木あるじ（作家）、杉尾宗紀（NHK仙台ラジオパーソナリティ）、土方正志（荒蝦夷）
○朗読：石垣のりこ（Date fm）、菊池佳南（コマイぬ）、香坂あかね（フリーアナウンサー）、芝原弘（コマイぬ）
○ゲスト：郷内心瞳（作家）、須藤文音（作家）
○入場料：500円（1ドリンク付き）○定員：50名（先着順、7/6より受付）
企画制作：有限会社荒蝦夷

ツアー

海辺散策＜新浜編＞

津波の被害が大きかった地域の7年目の姿を見に出掛けませんか。住民の方々と一緒に歩きます。

9月3日（日）10時～12時

要申込

○集合場所：新浜みんなの家（仙台市宮城野区岡田浜通54-2）
アクセス／荒井駅より仙台市営バス岡田・新浜行き「新浜」下車（9:13→9:31）
○参加費：100円 ○定員：20名（先着順、8/6より受付）
協力：新浜町内会、東北学院大学平吹研究室

トーク

地域で遊んだ記憶を掘り起こす ―沿岸の集落、田園の集落―

「居久根の木と木の間に板を渡して基地をつくっていた」「松林の中で大きな木を利用しながらくれんぼをした」子どもの頃に遊んでいた風景を探っていくと、そこには地域の風土が色濃く表れます。この会では子どもの視点から「地域の記憶」を掘り起こします。かつてはこの地域にもやって来ていた紙芝居も登場します！

9月18日（月・祝）14時～16時

申込不要
直接会場へ

14時～：住民を招いて遊び方トーク、15時～：紙芝居上演、15時30分～お茶っしながら「遊んだ記憶」についておしゃべり
○会場：ゼンダイ3.11メモリアル交流館 1階交流スペース ○参加無料
企画制作：NPO法人冒険あそび場―ゼンダイ・みやぎネットワーク、協力：大衆紙芝居ネットワーク

イベント

稲わら集め

さまざまな道具の材料となってきた稲わら。今後交流館で開催予定の道具づくり（ムシロ、輪通し、等）に備えて、まずはお米の収穫の時期に稲わらをみんなで集めます。

10月7日（土）10時～12時

要申込

○集合場所：新浜みんなの家（仙台市宮城野区岡田浜通54-2）
アクセス／荒井駅より仙台市営バス岡田・新浜行き「新浜」下車（9:13→9:31）
○参加費：100円 ○定員：20名（先着順、9/6より受付）
協力：新浜町内会、遠藤環境農園、仙台海岸林キノコ文化研究会

イベント

まめげつつあん

仙台市東部沿岸地域には、中秋の名月（八月十五夜）を「まめげつつあん（豆名月）」、九月十三夜を「いもげつつあん（芋名月）」と呼んでお月見をしてきた地域があります。今年は10月4日が中秋の名月。交流館から見える月はどうな月？一緒にお月見を楽しみましょう！

10月4日（水）18時～20時

申込不要
直接会場へ

○会場：ゼンダイ3.11メモリアル交流館 屋上庭園
時間内出入り自由です。ご都合のよい時間にお越しください。
＊小学生以下の方が参加される場合は、保護者の同伴が必要です。
協力：荒浜再生を願う会

申込方法

要申込 と表記のあるものは、

下記電話またはメールにて
①ご参加される方のお名前、
②電話番号をお知らせください。

電話 022-390-9022（受付：10時～17時）

メール office@sendai311-memorial.jp

※参加費には保険料、資料代等が含まれています。
※参加費は当日会場にていただきます。